

天王地区汚水処理施設

質問Ⅱ音竹地区への配管移設工事は
答弁Ⅱ平成34年度供用開始予定



藤崎 憲裕 議員

尾崎上下水道課長
天王地区汚水処理施設の
公共下水道への統合事業に
ついて、平成29年8月に天
王・音竹地区で統合につい
ての説明会を開催し、接続
ルート・供用開始目標など
を示し、設計などの業務に
着手。平成31年度は伊野南
中学校の北側を通り、甫木
山を越え伊野浄水苑へ接続

天王地区汚水処理施設は
(株)戸田建設から町が引
き取るために住民が署
名を集め(住民全体の
97%)、平成15年、町に
移管することができ
た。天王地区汚水処理
場ができてから31年経
過し建造物も老朽化
し、このたび天王地区
汚水処理場から音竹地
区浄水苑に配管移設す
る運びとなったが、そ
れに必要なボーリング
調査の現状は。



天王～音竹 汚水管移設 ボーリング調査状況

するルートの測量業務と地
質調査業務を実施。

来年度に管路施設、処理
場の詳細設計を行う予定。
工事については、平成32年
度から着手し、平成34年度
供用開始に向け現在進めて
いる状況である。

ホルトの木 伐採後及び 舗装面の処置は

藤崎議員

天王地区も平成元年から
造成分譲されて31年が過
ぎ、街並みの木々は大きく
なり、木の根は舗装の路
盤、特にバス路線両サイド
の舗装面や構造物、そして
隣接する家庭の配水管に被
害が見受けられるようにな
り、ホルトの木66本を伐採
した。主根及び舗装面は後
日処置を行うとのことだ
が、今後の対応は。

水田土木課長

平成29年度に道路及び隣
接する家屋に影響を及ぼし

ているホルトの木を伐採し
てほしいとの地区要望があ
り、平成29年度から順次伐
採を実施し、6月に完了。
「伐採後の跡地処置」は、
地区の意見を取り入れなが
ら、今後維持管理がしやす
く、周辺に影響を及ぼす可
能性の低い低木を平成31年
度から順次植栽していく。
歩道の舗装面が隆起して
おり、通行者に対し、事故

の原因になり得る状態であ
ると認識している。
このため、路面隆起の改
善として、平成31年度から
順次工事を実施する予定。
また、施工に際しては、
歩道の一時的な通行止めも
あることから、実施日が決
まれば事前に地区に回覧な
どで周知する。



天王地区バス循環道 ホルトの木伐採後の状況